

自然現象の常識的理解と科学的解釈

Scientific explanation and commonsense understandings

主催：東京大学教養学部附属教養教育開発機構

共催：東京大学 21 世紀 COE プログラム「心とことば - 進化認知科学的展開」

Prof. Jon Ogborn (ロンドン大学名誉教授)

Prof. Joan Bliss (サセックス大学名誉教授)

自然科学の教育においては、子ども達が日常生活の中で作り上げた、自然現象に対する独自の見方、いわゆる素朴概念による説明を、いかに科学的に正しい概念と考え方に導くかが、大きな課題であるといわれています。

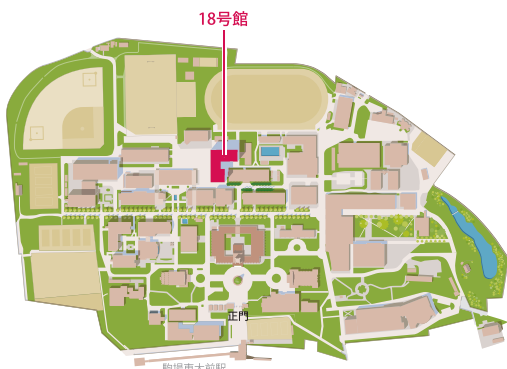
このセミナーでは、科学教育の専門家であるオグボーン教授 (Advancing Physics 責任編集者) と発達心理学の専門家であるブリス教授 (発達心理学者 J. ピアジェ教授の最晩年の共同研究者) に、素朴概念や常識的推論と科学的な概念や科学的な推論の間の類似点や相違点、およびその科学教育における意味について、解き明かしていただきます。

同時通訳つきで行います。大学関係者、大学院学生、学部学生のみならず、広く、科学教育にご関心をお持ちの方や、小学校・中学校・高校の先生方にご参加いただきますよう、ご案内いたします。

2006 8.18 (金) 14:00-17:00

東京大学駒場 | キャンパス 18 号館 1 階ホール

(同時通訳)



教養教育開発機構

TEL:03-5465-8819 FAX:03-5465-8817

E-mail: SciLab@komed.c.u-tokyo.ac.jp

<http://www.komed.c.u-tokyo.ac.jp/>

科学
VS
常識